ユニバーサルマグネチックスタンド No. 7027-10 / 7028-10

Manual No.99MBH008B

警告

ペースメーカを使用されている方は本器を使用しないでください。磁力によりペースメーカの誤作動を誘発する可能性があります。

注意

- 本器をフロッピーディスクやその他磁気記憶装置に近づけないでください。磁力によりデータが消去されることがあります。
- マグネットベースを吸着させる面の材質、厚さ、面粗さ、塗装などの状態により吸着力は減少します。
- マグネットベースの吸着面に傷や錆がありますと吸着力は減少します。
- 本器を落下させたり、ぶつけたりすると破損や作動不良の原因となります。
- マグネットの吸着力低下を防止するため、強力な磁力を持っているトランスや脱磁器等の近くでは使用しないでください。
- 使用しない時は、マグネットを OFF にしておいてください。
- 性能確保のためマグネットベースは分解しないでください。

1. 特長

本マグネチックスタンドは、ダイヤルゲージ、てこ式ダイヤルゲージ（弊社のテストインジケータ等）などの測定器を任意の位置にセットするための測定冶具です。

- ベースにはマグネットを採用しており、縦・横・逆さの位置に、またV溝により、円筒状のものにも確実に固定させることができます。
- 柱はユニバーサル継手により、任意の位置に調整することができ、また油圧方式により、一つのクランプで全ての継手部をロックすることが可能です。
- 微調機構により測定器のゼロ点合わせが容易に行えます。

2. 各部の名称（図1参照）

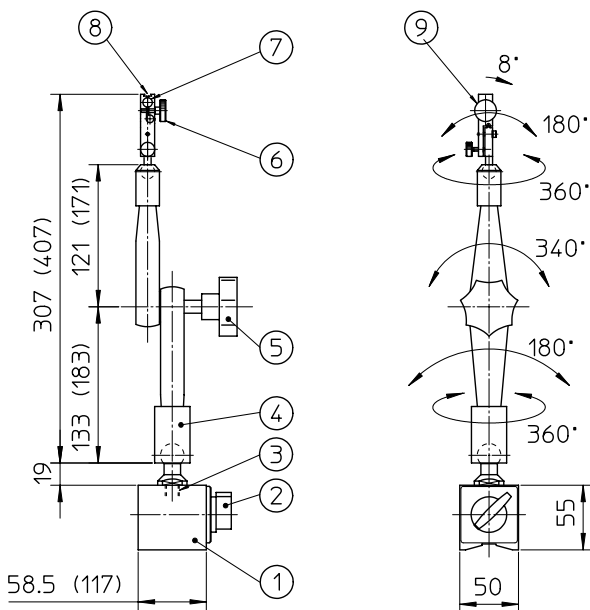
①マグネットベース
②レバー
③取付ねじ部
④アーム部本体
⑤クランプツマミ
⑥締め付けねじ
⑦ダイヤルゲージ取付穴
⑧アリ溝
⑨微調整ツマミ
⑩ダイヤルゲージ

( )… No.7028-10 Unit: mm

図 1

3. 使用前の準備

お手持ちのスパナなどを使って、アーム部本体をマグネットベースの取付ねじ穴にしっかりとねじ込んでください。

4. 使用方法

1) ダイヤルゲージなどはφ8mm の穴に、てこ式ダイヤルゲージなどはアリ溝にセットし、締め付けねじにて固定します。
2) 柱は任意の姿勢でクランプツマミにて仮固定します。
3) 測定箇所に測定器の先端（測定子）が届くようにマグネットベースを移動させ、マグネットベースのレバーを ON にして吸着させます。
4) 測定器の先端（測定子）を測定箇所に合わせるためアーム部の角度を調整し、更に測定器が適切な姿勢になるように留意してクランプツマミで固定します。
5) 微調整ツマミにて測定器の姿勢やゼロ点の微調整を行います。

重要

- クランプツマミを締めてアームを固定した状態で、過度の力をアーム部に加えないでください。内部のOリング破損などによりオイル漏れが生じてクランプ不能になることがあります。
- 測定誤差を最小限に抑えるため、測定器の取扱説明書なども参照して適切な姿勢で固定してください。

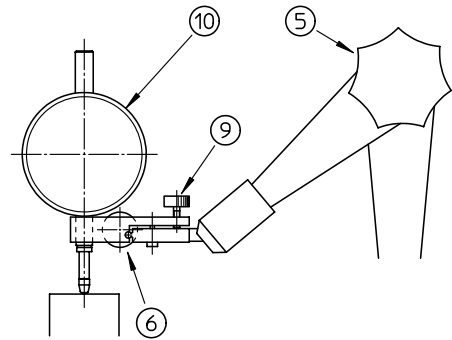



図 2

5. 製品仕様

コード番号	適用ステム径	取付ねじ	質量	吸着力
7027-10	φ8、アリ溝	M8x1.25	1.7kg	600N
7028-10	φ8、アリ溝	M10x1.25	2.8kg	1,000N

Mitutoyo